

診療科研修コース  
診療科研修名【循環器科コース】

1. 診療科(専門領域)

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)

心不全(高血圧性心疾患、心臓弁膜症、先天性心疾患、心筋症、心筋炎)

不整脈 末梢血管疾患(閉塞性動脈硬化症)肺動脈血栓塞栓症

2. コースの概要

内科系基礎プログラムと循環器(心臓グループ)プログラム(基礎領域)を終了し、さらに心疾患に対する高度な知識と技術研修を希望する者には2年間の専門領域の研修も可能

3. 取得資格

3年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医( )

5年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医( )

4. 長期目標

**初期臨床研修**

1年目 3ヶ月間のローテートで最低限必要な循環器疾患の診断学、治療学を学ぶことで一般内科医としての基礎を養う。

特にCCU重症管理例や24時間体制の緊急カテーテル検査などチーム医療を実践、体感してもらう。

2年目 上記に追加して指導医の指導の下、侵襲度の高い検査の実践、および日本内科学会近畿地方会、日本循環器学会近畿地方会での発表を目標に掲げている。

**後期臨床研修**

循環器専門医をめざす医師に必要な最新の循環器疾患の検査および治療、エコー診断学、重症心疾患管理を身につけることによってオールラウンドプレイヤーを養成することを目的としている。また学会活動は3年間で総会レベル1題、地方会2題、研究会数題の発表を目標に掲げている。

5. 取得手技

**初期臨床研修**

1年目 末梢点滴ルートの確保、動脈血(血液ガス)の採取

2年目 動脈穿刺(A-lineの確保)、中心静脈ルートの確保

**後期臨床研修**

1年目 中心静脈ルートの確保、動脈穿刺、左室造影、冠動脈造影、PCIのサブが確実にできる事

2年目 1年目に追加して

type AのPCI術者、ペースメーカー植込みのサブ、体外式ペースメーカー留置、経食道心エコーの挿入が確実にできること

3年目 2年目に追加して

type B1のPCI術者、恒久的ペースメーカー植込み時の縫合が確実にできること

## 6. 研修期間

3 または 5 年間

## 7. 募集人数

5 名

## 8. 前年度診療科の実績と目標症例数

東 3 階に CCU6 床、一般病棟 40 床の循環器専門病棟を配置

	診療科の実績 (2010 年)	目標症例数 (1 年間 / 医師)
年間入院患者数 (人/年)	1023	1 8 0
平均在院日数 (日)	9.1	
CCU 入院患者数 (人/年)	385	3 0
急性心筋梗塞 (人/年)	63	1 0
循環器疾患死亡数 (人/年)	23	-

	件数 (2010 年)	目標症例数 (1 年間 / 医師)
心臓カテーテル検査 (件/年)	901	1 5 0
うち PCI (件/年)	436	5 0
うち PTA (件/年)	34	
ペースメーカー植込み (件/年)	37	5
心エコー図 (件/年)	2842	6 0 0
運動負荷心電図 (件/年)	402	1 0 0
核医学検査 (件/年)	199	5 0
6 4 列 MDCT (件/年)	279	3 0

## 9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 10 名、非常勤 2 名

診療科研修の指導にあたる医師 10 名

主として研修指導にあたる医師の氏名 佐々木 達哉

〃 診療科経験年数 28 年

## 10. コンセプト

循環器疾患は癌とともに国民の健康を脅かし生命及び QOL に多大な影響を及ぼす疾患群である。日本社会は高齢化社会を迎えると同時に若年層では食生活の欧米化がさらに加速し循環器疾患は今後も増加の一途をたどることが予想される。したがって一般内科医として必要な循環器疾患領域の知識を研修期間中に学んでもらうことを目標とする。また患者さんは我々よりも年上であることが通例であり言葉使い一つをとっても相手に失礼のないよう配慮が必要である。社会人としての最低限の礼儀を持って診療に従事して頂きたいと思う。

## 1 1 . 一般目標

### 初期臨床研修

指導医のもと、主治医として主に入院患者を受け持つ。

特に CCU 重症管理例や 24 時間体制の緊急カテーテル検査などチーム医療を実践、体感してもらう。当直業務に関しては内科系初期臨床研修の原則に従う。

### 後期臨床研修

指導医のもと、主治医として全面的に入院患者を受け持つのみならず、心臓カテーテル検査および治療、心エコー図検査、運動負荷試験の検査を実践してもらう。

外来業務に関しては主に救急当番医として適宜、指導医の判断を仰ぎながら救急疾患に対応する術を身につける。

当直業務に関しては最初の 1 ヶ月間は研修期間とし、それ以降は月 3 から 4 回の当直業務を行う。診察対象は循環器系の外来救急患者、CCU 入室患者および一般病棟入院患者である。

## 1 2 . 関連領域の研修に関して

施設内での研修	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 不可
---------	-----------------------------	-----------------------------

施設外との交流研修	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 不可
-----------	-----------------------------	-----------------------------

研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人と相談して決定

## 1 3 . 共通領域研修について

- ・医療安全研修会の開催（年 4 回）